

令和 8 年度合志総合政策審議会意見・指摘事項

施策名：1 市民参画によるまちづくりの推進

意見・指摘事項 【1】	転入時におけるアプローチの強化や役員の負担軽減、協力金制度等の柔軟な設計を進めることで、自治会加入率の向上と市民が参加しやすい環境づくりを推進すること。
個別意見	・転入者をターゲットにした加入促進策を展開する。 ・転入手続き時に必ず自治会長へ連絡するよう促す仕組みづくりや、転入時における PR（啓発活動）を強化する必要がある。 ・役員の負担感が加入の障壁となっている現状を踏まえ、例えば子ども会の運営を保護者限定とせず、行政区全体で役員を選出して運営するなど、負担を軽減している先進区の事例を参考にしているかどうか。 ・自治会費の高さが未加入の要因となっているケースを考慮し、正規加入に至らない場合でも、街灯代やゴミステーション利用代等の「協力金」として一部を負担してもらう仕組みを検討してはどうか。 ・災害などにおける「共助」が果たす役割やその有益性について、説明強化を図るべきである。 ・転入者への自治会加入促進として、転入者に市長からのメッセージを一文添えてみてはどうか。

意見・指摘事項 【2】	自治会と市職員の連携を密にし、広報紙等による紹介や複数区での合同イベントを促進することで、地域コミュニティの活性化と協働体制を強化すること。
個別意見	・防災訓練の際、各行政区に割り当てられた市役所職員が直接地域に出向いて来てくれたことで相互の信頼構築につながった。こういった実績を踏まえ、自治会と市職員の協働体制をさらに強化すべきである。 ・市の広報紙において「各自治会」の特色や活動を紹介するコーナーを設け、認知度向上を図ってはどうか。 ・運営の効率化やマンパワー不足の解消に向けて、各行政区が合同で地域イベントを開催するなどの工夫を促してはどうか。 ・市民による自治会加入に関する問い合わせがあった際に、市職員は、一歩踏み込んだ自治会運営の説明に努めるべきである。 ・自治会加入メリットをおりにつけて発信すべきである。

意見・指摘事項 【3】	日本のルールや習慣の周知・支援を基本とすることで、外国人市民と地域住民の双方が納得できる多文化共生社会を構築すること。
個別意見	・外国人市民との共生を進めるにあたり、一方的な支援に偏るのではなく、日本のルールや生活習慣への理解を促すアプローチも重要である。

	・地域社会の調和を保つため、日本の生活ルールへの適応を基本とした相互理解・支援体制を築くべき。
--	---

意見・指摘事項 【4】	インセンティブの導入やネット投票の実現に向けた検討を行うことで、若年層をはじめとする市民の投票率向上を促進すること。
個別意見	・若年層の投票率を向上させるためには、利便性の高いインターネット投票の導入検討が不可欠ではないか。 ・若者が選挙に関心を持つきっかけとして、投票に対するインセンティブ（恩典・メリット）を付与する仕組みづくりも必要ではないか。 ・若年層を対象とした会議（若者会議）やオンライン意見募集等、若者が意見を出せるような場や仕組みづくりを作るべきではないか。

施策名：2 行政経営の推進・改革

意見・指摘事項 【5】	デジタル化による窓口業務の省力化を進めつつ、市民への丁寧なサポートや情報リテラシーの向上を図ることで、誰一人取り残さない行政サービスを実現すること。
個別意見	・「書かない窓口（記入不要な窓口）」等の導入により、市民の利便性向上と事務の効率化を図り、そこで生まれた時間をより付加価値の高い市民サービスや政策立案にシフトさせる必要がある。 ・行政のデジタル化を推進する一方で、操作に不慣れな市民へのサポートや、丁寧な説明、市民全体への情報リテラシー教育の充実が不可欠である。

意見・指摘事項 【6】	避難所となる公共施設等における空調整備や耐震化などの機能強化を図るとともに、地域の実情に応じた柔軟な避難所運営体制を確立することで、災害時における市民の安全を確保すること。
個別意見	・公共施設の改修や長寿命化を実施する際、防災施設としての機能強化の視点を組み込んでいくべき。 ・身近な地元の公民館の耐震化を進めて指定避難所以外の避難先として活用することや、避難者が少ない場合は体育館に限定せず研修室等へ移動させるなど、運営方法を柔軟に工夫する必要がある。

意見・指摘事項 【7】	職員の健康管理に十分留意しながら、女性管理職・女性活躍の機会の拡充や適正な定員管理を進めることで、効率的かつ活力のある組織運営を行うこと。
個別意見	・適正な職員数の確保と併せて女性活躍機会の増加を図ること。 ・職員の健康維持・メンタルヘルスに留意すること。

施策名：3 持続可能な財政運営

意見・指摘事項 【8】	空き家対策と移住（UJI ターン）支援策を一体的かつ効果的に推進することで、現役世代（生産年齢人口）を呼び込み、持続可能な税収の維持・強化を図ること。
個別意見	・市内の空き家対策を機軸とし、これと移住（UJI ターン）施策を効果的に連動させることで、現役の納税世代を地域へ確保していくこと。 ・移住・定住促進の具体的なアプローチとして、空き家の積極的な活用に取り組み、市財政の自主財源（市税）の増加につなげるべきである。

意見・指摘事項 【9】	ふるさと納税の現状をふまえ、熊本県農業公園（カントリーパーク）等のイベント枠を活用した返礼品の開発など、独自の工夫により寄付獲得と税収増を図ること。
個別意見	・カントリーパーク等での催事の参加枠・入場枠等をふるさと納税の返礼品として活用するなど、独自性のある寄付獲得策を検討してはどうか。一度断られたからと言ってあきらめず、粘り強く継続的に交渉すべきではないか。 ・ふるさと納税の返礼品をもっと魅力あるものにしてほしい。

意見・指摘事項 【10】	住所表記のわかりやすさを整理しつつ、地域の歴史や自治会名の由来を広報等で伝えることで、財政負担の軽減と郷土愛の醸成を両立させること。
個別意見	・地番（番地）表示から分かりやすい「丁目表示」等へと住所表記を整理することで、住民活動の利便性向上や行政事務の効率化が図られ、ひいては行政手続きコストの削減をはじめとする中長期的な財政負担の軽減にもつながるのではないかな。 ・住所表記の整理を進めつつも、地域に古くから伝わる歴史的な「小字（こあざ）」の名称等をこどもたちに教育し、地域への誇りや愛着（郷土愛）の醸成につなげるべき。 ・地名と自治会名が密接に関連している地域も多いため、自治会名の由来や歴史的背景を市の広報紙等で紹介し、愛着を深めてもらってはどうか。

意見・指摘事項 【11】	市有施設等の管理運営において一括外部委託（民間委託）などの新たな管理手法を導入することで、行政コストの抑制と財政支出の効率化を図ること。
個別意見	・現在直営や一部業務委託で行っている各種施設管理について、民間のノウハウ活用や効率化を見据え、丸ごと一括委託（一本化）する手法を検討すべきである。

施策名：4 地域福祉の推進

意見・指摘事項 【12】	民生委員の業務内容が多岐にわたり、担い手確保が困難な状況にあることから、業務の整理・分類により民生委員の負担を軽減するとともに、体験活動や研修の充実を通じて、新たな担い手の裾野を広げること。
個別意見	・ 民生委員も高齢化 若い人の担い手を。 ・ 民生委員＝大変のイメージ・負担感が強くとにかく手がない。 ・ 若い人がやりやすい環境を作るにはまずは負担減。 ・ 民生委員の活動内容の周知。 ・ 民生委員の体験活動をしてはどうか。

意見・指摘事項 【13】	地域活動の希薄化が進む中、活動の継続性を確保するため、地域で活動する人材の確保・育成を図り、市民が無理なく参加・継続できる地域活動の仕組みづくりに取り組むこと。
個別意見	・ 子ども会や区の行事も少なくなり、近所の人とつながりがない ・ 役員の高齢化や財政面で継続が厳しい。

施策名：5 こども・子育て支援の充実

意見・指摘事項 【14】	地域サポーター制度の認知度向上と役割理解のため、制度の明確化と周知の強化及び講座の実施方法の工夫を行うこと。
個別意見	・ 地域見守りサポーターが何かわからない。 ・ 受講者が前年比で半減している。周知ややり方を変えるべき。 ・ 民生委員や高齢者支援課の見守りサポーターとの違いが判らない。 ・ 各課でいろいろな役割があるので、市民がわかりづらい。

意見・指摘事項 【15】	保育人材の確保と処遇改善に取り組むとともに、保留児童対策に取り組み、持続可能な保育体制の構築を行うこと。
個別意見	・ 市では保育士確保の取組をしているが、募集しても、なかなか集まらない現状。 ・ 保育士不足で、確保に苦慮。お金を払って業者に依頼しているケースもある。 ・ 保育園が保育士の紹介業者を利用する際に発生する費用に対する一部補助金の制度を作って欲しい。 ・ 保留児童対策が必要。

施策名：6 健康づくりの推進

意見・指摘事項 【16】	若年層の受診率向上のため、ポイント付与制度や健康アプリの普及、予防意識の啓発を通じて、健康無関心層への動機づけを強化すること。
個別意見	・ 定期受診しているから大丈夫と思って検診していない人もいる。 ・ 自分の体に自信がある人は受けない。 ・ ポイント付与など目に見えるメリットが受診の動機づけになるのでは。 ・ うえることが何かわからない。

意見・指摘事項 【17】	市民の健康に関する関心や理解の程度が異なる中、より多くの市民に健康づくりの大切さを届けるため、受診率の低い地区や世代・層の特性を把握した上で、地域に出向いた講話・講座を積極的に展開すること。
個別意見	・ 健康に関しての意識が薄い。 ・ 早期発見と予防がいかに大事か周知する。 ・ 地区や年代、属性によって受診率が異なるのでは。受診率の低い層には、地域や団体に出向いて健康講座を実施するなどアプローチしてはどうか。

施策名：7 高齢者の自立と支援体制の充実

意見・指摘事項 【18】	通いの場への参加を希望しても移動手段がない高齢者がいることから、送迎サポーター制度をはじめ、現在実施している移動支援施策の周知強化と、さらなる充実を図ること。
個別意見	・ サロン等への交通手段がない。 ・ 老人クラブのタクシー利用を支援しては。

意見・指摘事項 【19】	高齢者支援の担い手不足に対応するため、民間施設・スタッフや学生など多様な資源の活用により、地域で見守る仕組みづくりを再構築すること。
個別意見	・ 民間施設・スタッフとの連携体制の構築。 ・ 学生等との関係構築による新たな担い手の発掘・育成。 ・ 地域全体で見守る仕組みの再構築。

意見・指摘事項 【20】	高齢者が生きがいを持ち、社会参加するため、既存の通いの場の周知を強化するとともに、多様なニーズに対応した新たな通いの場を創出し、参加しやすい環境を整備すること。
個別意見	・ 通いの場の活動内容をわかりやすく示した資料・マップがあると良い。 ・ 高齢者集まりの場の楽しさや効果をアピールする周知活動。 ・ 老人クラブ・シルバー人材センターの認知度向上と啓発強化。 ・ 認知症高齢者の居場所づくりと認知症予防の啓発。

	・食事に特化したサロン等、多様な交流の場の提供。 ・高齢者が地域を支える人材として活かされる仕組みが必要ではないか。
--	---

施策名：８ 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

意見・指摘事項 【21】	障害のある人が生きがいを持ち自立した生活を送れるよう、障害者スポーツや誰もが参加しやすいイベントなどを実施し、社会参加の機会を拡大すること。
個別意見	・障害者スポーツの促進。 ・イベント参加促進による社会参加機会の増加。 ・誰でも参加できるイベント・活動の創出。 ・生きがいを持った自立生活の充実。

意見・指摘事項 【22】	障がいのある人と家族を支援するため、障がい者基幹相談支援センターの認知度向上とともに、センターを中心とした家族・事業所・関係機関による連携体制の構築を図ること。
個別意見	・相談支援センターの認知度向上、PRの強化。 ・家族や事業所間の意見交換・情報共有の場や関係性の構築。 ・地域全体を見守る仕組みの構築。

施策名：９ 義務教育の充実

意見・指摘事項 【23】	教職員の勤務環境の改善のため、支援員や専門スタッフの拡充による多角的なサポート体制を構築すること。
個別意見	・教育活動支援員の増員。 ・教職員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間に充てられるように。 ・心理士を増員。 ・教職員の定数確保。 ・教職員が不足している現在の状況を少しでも改善するために、教員免許がなくても支援できる仕事内容や制度を作って欲しい。

意見・指摘事項 【24】	時代にあった教育機会の提供や、家庭、地域での活動場所の確保など、こどもを支える環境を構築すること。
個別意見	・不登校のこどもの保護者支援の必須。 ・着衣水泳教室の実施。 ・県警サイバー犯罪対策課による特別授業の実施。 ・公園でのボール使用。 ・放課後の子どもの居場所作り。 ・放課後に子どもが外で遊べる環境づくり。(体力向上)

施策名：10 生涯学習の促進

意見・指摘事項 【25】	地域の実情に即したコミュニティ運営を検討するとともに、既存の社会教育施設について、計画的に維持管理すること。
個別意見	・市民センター方式なのか地区公民館活動方式か、地区公民館活動については、区の意見を集約しながら進めていってほしい ・社会教育施設を計画的に維持管理し、必要なところに予算をかけてほしい。

意見・指摘事項 【26】	若年層の取り込みや新たな文化活動の導入により、幅広い世代が参加できる多様な学習機会を創出し、地域のリーダーとなる人材の育成に取り組むこと。
個別意見	・生涯学習の講師に高専生や大学生などを呼ぶといいのではないか。 ・多くの人にサブカルチャーに触れあってもらえるよう、合志市内に聖地を作るといいのではないか。推し活層も取り込めるのでは。 ・地区の行事への中学生の参画。

施策名：11 生涯スポーツの推進

意見・指摘事項 【27】	学校施設の利用環境を改善するとともに、市民のスポーツへの参画を促進すること。
個別意見	・ニーズに合ったニュースポーツの研修と周知拡大。 ・市民が学校施設を利用できる時間を早めてほしい。 ・より多くの市民にイベントに参加してもらえるよう、スポーツイベントに著名人を呼ぶといいのではないか。 ・学校施設の外のトイレをきれいにしてほしい。

意見・指摘事項 【28】	持続可能な指導体制の構築に努めること
個別意見	・部活動対応教職員への報酬の支払い。 ・スポーツ推進委員の増加を。 ・部活動の地域展開への指導者確保と報酬の額。

施策名：12 人権が尊重される社会づくり

意見・指摘事項 【29】	性別や属性に関わらず、誰もが活動しやすい基盤を整えること。
個別意見	・女性登用率の向上については、委員依頼選出の時点で、女性の選出を依頼してはどうか。 ・LGBTQ 誰でも使用できるトイレを増加させてはどうか。 ・制服について、キュロットを販売するのはどうか。 ・法律相談について、インターネットを利用できるようにしてはどうか。

意見・指摘事項 【30】	互いを知る機会を作り、人権意識を身近に感じてもらう機会を創出すること。
個別意見	・外国人を雇用している事業所に協力依頼し、お互いの郷土料理を作って交流し、理解を深めてはどうか ・人権フェスティバルは、案内のチラシを漫画風にするなどして、したくなるように工夫してみてもどうか

意見・指摘事項 【31】	SNS や AI の普及に伴う、新しい人権侵害やトラブルを防ぐための教育を実施すること。
個別意見	・学校で SNS の使い方に関する講演会を開き、地域の方も参加してもらうのはどうか。 ・ネット上で、AI による様々な情報が飛び交っているので、小中学生に対し、情報を見分ける学習を充実すべきではないか。

施策名：13 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

意見・指摘事項 【32】	学校教育の中に、郷土学習を積極的に組み込むこと
個別意見	・郷土芸能の醸成に向けた「指定校制度」の設定 ・社会科のテストに郷土芸能の問題入れてみてはどうか ・中学校における郷土学習の取り入れ

意見・指摘事項 【33】	子どもたちが歴史や伝統文化に興味を持ちやすいよう、媒体や手法を工夫すること。
個別意見	・合志市歴史の本（教科書）のようなものを作ってはどうか。 ・伝統文化を漫画化してはどうか ・竹迫ことわざを使って、合志市の昔の生活について、学ぶのはどうか

	・ 昔の道具を実際に体験してはどうか ・ 各史跡への QR コードを設置してはどうか。 ・ 合志市の歴史だけでなく、現在の合志市の現状や魅力などを学校で取り上げて学習して欲しい
--	--

施策名：14 防災・危機管理対策の推進

意見・指摘事項 【34】	防災士の活動の認知度向上を図り、市民の防災意識の向上に努めること。
個別意見	・ 防災士の活動の認知度向上を図る必要がある。

意見・指摘事項 【35】	児童の防災教育に努めること。
個別意見	・ 子どもの頃から防災に対する意識を向上させることで、市民全体の防災意識の向上につながるのではないかと。 ・ 子どもの頃から防災に興味を持たせるため、中高生に防災士の資格を取らせるよう、学校や家庭に働きかける施策を推進してはどうか。

意見・指摘事項 【36】	防災情報の伝達手段や避難行動計画等の多言語化に努めること。
個別意見	・ 多文化共生が進んでいるので、多言語化を図る必要がある。

施策名：15 防犯・交通安全対策の推進

意見・指摘事項 【37】	防犯団体同士の意見交換の場を設けるなど、防犯団体との連携を図ること。
個別意見	防犯団体の問題点意見活動に対する意見交換会をして欲しい。

意見・指摘事項 【38】	消費生活センターの認知度向上に努め、犯罪被害の防止について学校やサロン等を通じて、啓発を推進すること。
個別意見	・ 特殊犯罪の防止について学校、サロンを通じて啓発を講じること。

意見・指摘事項 【39】	防犯カメラ設置補助金の交付対象を拡充する等、防犯カメラの設置を促進し、犯罪抑止に努めること。
個別意見	防犯カメラの補助金の対象の拡充（個人を含む）。 市内の道路や公園に防犯カメラを設置して欲しい。

施策名：16 住環境の充実

意見・指摘事項 【40】	市民のニーズに基づいた公園管理及び整備を行い、誰もが安心して利用できる公園づくりを推進すること。
個別意見	・市民の公園施設に関するニーズの把握を図ること。 ・公園の樹木管理に関して市が積極的に管理すること。 ・児童公園の整備に努めること。

意見・指摘事項 【41】	空き家対策に関するセミナーによる予防と特定空家の解消を軸に、特定空家認定解除の効率化を並行して進めること。
個別意見	・特定空家認定解除について、更に効率的な対応を行うこと。 ・環境美化と防犯の観点から特定空家の解消を推進すること。 ・空き家対策セミナーにより、空家発生 of 未然防止に努めること。

意見・指摘事項 【42】	計画的な生活環境の整備を図ること。
個別意見	・都市環境のデザインを魅力あるものにすること。

施策名：17 水の保全・安全供給

意見・指摘事項 【43】	教育や学習の場を提供し市民の保全意識を醸成すること。
個別意見	・子どもたちに水の大切さを伝えること。 ・市民が硝酸性窒素について学べる機会を作してほしい。

意見・指摘事項 【44】	老朽化した水道施設の耐震化を進め安定した供給基盤を構築すること。
個別意見	・耐震性の排水管への移行を計画的に進めること。

意見・指摘事項 【45】	地下水への環境負荷を低減し安全な水資源を安定的に確保すること。
個別意見	・地下水保全に対する取組を進めること。 ・家畜糞尿を農地へ散布することによる地下水への影響を最小限にするため処理に対する市からの指導を強化すること。

施策名：18 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

意見・指摘事項 【46】	ごみ袋の料金改定（値上げ）を検討し、自治会への財政的・活動的支援への還元を図ること。
個別意見	・合志市のごみ袋は安価であるため、値上げによる増収分を自治会費に還元することで、自治会の負担軽減や活動活性化につなげてほしい。 ・燃えるごみ（赤）と資源ごみ（緑）の双方を同時に値上げするのではなく、燃えるごみ（赤）のみを値上げすることで分別を促し、資源物の増加を図るべきである。 ・廃品回収に対する補助金制度は現行のまま維持してほしいとの意見。 ・ゴミ袋を、赤緑黄の3種混合で販売するのを検討してみてはどうか。例えば、一袋の中に、赤が6枚、緑が3枚、黄色が1枚等。

意見・指摘事項 【47】	自治会などの回収団体の負担軽減及びマナー違反ゴミへの実効性ある対策を講じること。
個別意見	・資源物回収は役員の負担が大きく、活動を休止・終了せざるを得ない自治会がある。 ・回収団体への補助金を増額することで役員の負担を軽減し、活動継続を支援してほしい。 ・ごみ出しルールを守らない違反者への監視活動を継続することは困難なため、防犯カメラの設置や実効性のある違反对策に取り組むこと。 ・各自治会のごみステーションでは、違反ごみの問題が多いため、自治会任せにせず、市の担当課と協力し、違反ごみを減らす対策を講じて欲しい。 ・自治会未加入世帯のごみステーションを通常のごみステーションとは別に設置して欲しい。

意見・指摘事項 【48】	外国人や転入者等へのゴミ出しルールの周知徹底と、効果的な広報啓発活動に努めること。
個別意見	・生ごみは8割が水分であり、家庭用処理機による減量効果が高いため、市が一括購入して市民へ配布・貸与するなどの積極的な普及策を検討してはどうか。 ・新たな転入者や外国人居住者に対して、地域のごみ出しルールを確実に周知する必要がある。 ・転入時にルール遵守に関する誓約書の提出を求めるなど、マナー向上のための実効性ある手続きを検討すべきではないか。

施策名：19 脱炭素・地球温暖化防止対策の推進

意見・指摘事項 【49】	省エネ補助金制度の公平な分配と、申請・受付方法の迅速な改善に努めること。
個別意見	・エアコン購入に対する補助金については、1件あたりの補助単価を下げてでも、より多くの世帯を対象に含めるべきではないか。 ・エアコン購入の補助金申請受付について、先着順ではなく抽選制を導入すべきである。

意見・指摘事項 【50】	広域的な連携を強化し、市全体での実効性ある脱炭素の具体的検証・改善に努めること。
個別意見	・ごみ処理などを共同で行う菊池広域連合全体で、足並みを揃えて協力して取り組むべきである。 ・行政の取り組みにとどまらず、市全体の改善につながる具体的な取り組み事業を検討すべきである。

意見・指摘事項 【51】	森林伐採を伴う太陽光発電開発への抑制と、適切な設置規制のあり方を検討すべきである。
個別意見	・他自治体において森林を伐採して太陽光発電施設を設置している事例が見られるが、二酸化炭素の吸収源を損なう開発は脱炭素の観点から見ても矛盾しており、疑問が残る。 ・合志市内において同様の開発が行われないよう、事前の規制や適切な設置基準のあり方を検討すべきである。

施策名：20 計画的な土地利用の促進

意見・指摘事項 【52】	住民ファーストとなる計画的な土地活用とインフラ整備により、安全安心なまちづくりを推進すること。
個別意見	・インフラ整備を進め、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進すること。 ・計画的な土地開発を図ること。 ・計画的な土地利用を推進すること。

意見・指摘事項 【53】	遊休農地の解消と優良農地の確保に向けた農家への多角的な支援を一体的に推進すること。
個別意見	・遊休農地の活用について農業法人を積極的に活用すること。 ・農地を有効に利用すること。 ・合志市の基幹産業である農業を守ること。 ・遊休農地の減少に努め、優良農地の確保に努めること。

	・農地の集約化の促進を図ること。
--	------------------

施策名：21 計画的な道路の整備

意見・指摘事項 【54】	安全安心な通学路の整備、かつ、市民に対するゾーン30等の規制に関する周知を推進すること。
個別意見	・交通量の増加に伴い、通学児童の安全確保に努めること。 ・スクールゾーンやゾーン30について、周辺企業に対する周知を図ること。 ・ゾーン30に関する周知啓発を図ること。 ・道路のパトロールに努め、積極的な補修に努めること。

意見・指摘事項 【55】	安全安心な道路環境の整備を図ること。
個別意見	・市民通報システムを最大限活用し、路面以上の早期発見に努めること。 ・歩道が雑草でふさがれないよう管理してほしい。 ・歩道が夏になるとチガヤ等の背の高い雑草で通れなくなり、歩行者が車道を歩いているので、草刈りの頻度を増やすか、近隣の自治会に補助金を出す等の施策を検討してほしい。 ・数年後高規格道路が整備されるが、交通量の増加により、トラクターが通れなくなり、かなりの遠回りを余儀なくされることが想定されるため、そうならないための側道及び農道の整備してほしい。

意見・指摘事項 【56】	マイカー依存による交通負荷を軽減するソフト施策を図ると共に、住民参加型の対策を講じること。
個別意見	・渋滞解消のために新規道路を作ることも必要だが、一方で、住民が車を使用しないような事業が必要。 ・健康づくりの観点を取り入れ、マイカー依存からの脱却に資する事業を推進すること。 ・渋滞解消のために道路の拡幅を推進すること。

施策名：22 公共交通の充実

意見・指摘事項 【57】	市民ニーズを反映した路線網の最適化と利便性を向上させること。
個別意見	・ 現行路線にない移動需要がないか調査し、可能な限り多くの市民に寄り添った公共交通網の構築を検討すること。 ・ 乗合タクシーの運行範囲の見直し及び停留所数の増加を検討すること。 ・ 区長等に対して区民の公共交通に対する要望、意見聴取を依頼することを検討すること。 ・ 自治会で住民の送迎サービスが可能と聞きました。既存の公共交通の網に漏れた部分を自治会サービスでまかなえるよう、自治会による送迎サービスへの支援も含めて検討してみてはいかがでしょうか。まさに共助だと思います。

意見・指摘事項 【58】	ターゲットに合わせた効果的な広報と情報発信を強化すること。
個別意見	・ 広告スペースを活用して高齢者だけではなく、学生利用も想定した利用方法のチラシを作成・掲示を検討すること。 ・ 小中学校を卒業する世代の親に対する市内公共交通機関の利用促進の呼びかけを検討すること。 ・ 公共交通が意外と便利だということを知らない市民が多いため、情報発信の方法を再度検討すること。（特に乗合タクシー）

意見・指摘事項 【59】	付加価値の提供により公共交通の利用意欲を醸成すること。
個別意見	・ 公共交通の利用と市内での買い物などで使えるポイント制度を掛け合わせた事業を検討すること。 ・ 乗ってみたいと思わせるバスの装飾（内装）を検討すること。 ・ バスの塗装を、電車と同様に、くまモンにすること。

施策名：23 農業の振興

意見・指摘事項 【60】	農業経営の継続支援と基盤強化を行うこと。
個別意見	・ 認定農業者への支援にとどまらず、兼業農家数の把握とサポートの検討をすること。 ・ 農村地域の農地の保護。 ・ 現在の農家を守りつつ、これから農業を継続できるような品種改良をはじめとした技術開発の実施を検討すること。 ・ 資材等の物価高騰に苦しむ農家への支援の充実を検討すること。 ・ 農家とその先の工程に係る人とのマッチングの場を設けること（加工業者、販売業者等）。 ・ 鳥獣被害対策での防護ネット等の購入に対する補助を認定農業者だけでなく、兼業農業者も対象とする。

意見・指摘事項 【61】	若者・学生を巻き込んだ農業の魅力発信と人材育成を行うこと。
個別意見	・ 合志市の特産品の開発を若者や学生を巻き込んで行うこと。 ・ 小中学生に向けて、農業の魅力、面白さを発信できる人材の育成。 ・ 農家と小中学生が関わる場を創出し、農家を志す若者を増やすための取組を検討すること。 ・ 新規就農しやすい環境をつくること。

施策名：24 商工・観光業の振興

意見・指摘事項 【62】	アニメ・マンガ・著名人を活用した地域活性化施策の検討を行うこと。
個別意見	・ サイエンスパーク構想を契機としたアニメ・マンガとのコラボ。 ・ マンガミュージアムでのイベント、著名人を起用した施策により、市の認知度と賑わいを向上させる。 ・ 次世代を担う有望なスポーツ選手及び文化芸術人材を早期に発掘・育成し、観光振興及び地域活性化に活用する。

意見・指摘事項 【63】	合志市の象徴となるようなイベントの開催を検討するとともに、市内の農作物を活かした新たなブランド品の開発を検討すること。
個別意見	・ 合志市のシンボルとなるようなイベントの開催を検討すること。 ・ 手頃な価格のブランド認証品の開発を検討すること。

	・様々な農産物が生産されていると思うが、「合志市といえば」といった物がない印象。
--	--

施策名：25 企業誘致の促進と働く場の確保

意見・指摘事項 【64】	若者・子どもの意見を反映しつつ、地元就業の促進と人材育成の拡大を行うこと。
個別意見	・子どもや若者の意見を聴く場を設け、その視点を施策に取り入れること。 ・次世代にとって魅力的な就業・居住環境を整備する。 ・クリエイター塾で学べる分野の拡大を検討すること。 ・地元出身者が市内で働きやすくなる仕組み、地元雇用を促進することする施策を検討すること。

意見・指摘事項 【65】	サイエンスパーク構想の情報発信強化を行うこと。
個別意見	・サイエンスパーク構想について知らない市民が多いことが想定されるため、市からも情報発信を強化してほしい。 ・企業誘致と農地のバランスを考慮した開発を進めること。 ・サイエンスパークに関する情報発信方法の検討を行う。